

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム 第1回甲賀地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年8月9日（火） 14時00分～16時00分

場 所：甲賀合同庁舎4階 4A会議室

出席者：市原 克夫 委員（公募委員）

今村 敏明 委員（公募委員）

木村 準子 委員（甲賀湖南交通安全協会 副会長）

上西 保 委員（湖南市産業経済懇話会 会長）

竹内 範行 委員（湖南市 都市建設部長）

武村 みゆき 委員（湖南市観光協会 常任理事）

谷口 奈菜 委員（甲賀市観光まちづくり協会）

塚口 博司 委員（座長）（立命館大学 名誉教授）

辻 彰 委員（甲賀市商工会 会長）

富居 敬介 委員（滋賀県甲賀警察署 交通課長）

西澤 毅 委員（甲賀市社会福祉協議会 事務局長）

樋口 泰司 委員（甲賀市 建設部長）

松田 晃余 委員（信楽町観光協会）

丸山 裕史 委員（滋賀県トラック協会甲賀支部 支部長）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 委員紹介

3. 地域ワーキング設置要綱の確認、座長選出

4. 地域ワーキング

（1）資料説明「第1回地域ワーキング」

- ・事務局より第1回地域ワーキングについて説明を行った。

（2）意見等 自由討議

○各委員からの主な意見等については以下のとおりである。

【災害対策について】

- ・昨今の災害の激甚化を踏まえて、大雨時の道路排水について、県道だけでなく市道なども含め、行政間で横断的な連携により、設計基準を超過しても被災しないような災害対策をお願いしたい。設計上は大丈夫であったとしても想定外のこともある。県や市、農業関係者も含め、横断的に対応してもらいたい。
- ・先日の大雨で国道1号の地下横断道がすべて通行不能となり、通学路として利用していた小学生が遠回りして帰ることになった。歩道橋を作るなど、考えてもらいたい。
- ・財政面や周辺への影響面から、歩道橋整備等のハード対策だけで課題を解決することは困難であり、ソフト対策も合わせた検討が必要である。ソフト対策を充実させて、道路整備の際には不測の事態が起こる可能性もあるということを念頭に置いた検討が必要である。
- ・先日の大雨により、福井県の国道8号で北陸トンネルが通行止めになった。そうすると南北の交通が分断されてしまうので、災害に強い道路整備を検討する必要がある。

【交通安全対策について】

- ・バイパスなどの道路整備が進み、印象は変わったが、通学路に自転車専用レーンがない。路線バスネットワークが不十分なため、中学生や高校生は主に自転車で通学しているが、狭い道路を自転車で通行しているのが非常に危ない。
- ・新しい道路には歩道が整備されているが、既存の道路にも歩道を整備してもらいたい。どこに歩道を整備すべきかについては、アクションプログラム2023で検討頂きたい。
- ・県道と町道との接続部において、通学路の接続状況が不十分で非常に危ない箇所がある。特に307号の幅員が非常に狭く、小・中・高校生が一斉に通学する時間帯は、自転車の高校生が歩道の小・中学生を避けて、交通量の多い車道を通行せざるを得ないため、非常に危ない。県道と町道との接続部の歩道整備を重点的に考えてほしい。
- ・地元から、横断歩道設置や信号機設置などの交通規制実施やガードレール・街灯整備についての意見が多く寄せられる。信号機を新設するということは新たな交通規制をかけ、法律で行動を強制的に規制することになる。その時は信号が必要だったとしても、その後不要になった際、交通規制を一度かけてしまうと外すことは困難なため、規制の必要性をきちんと検討する必要がある。
- ・歩道が整備できない県道については、ゾーン30規制の導入を検討するなど、ソフト対策の実施を考えていかないといけない。

【道路整備による地域の活性化について】

- ・名神名阪連絡道路が整備されても通過道路にならないように、甲賀市内や湖南市内へのアクセス道路を整備して、地域の活性化を図ってもらいたい。

【道路ネットワークの整備について】

- ・名神名阪連絡道路構想が動き出したという話があったが、県内の道路網は乏しい。名神名阪連絡道路のような高規格幹線道路だけでなく、幹線道路を補助する地域の道路もしっかり整備してほしい。
- ・名神名阪連絡道路は4月1日に重要物流道路として指定され、新名神と名阪国道の間の12kmが重要物流道路の計画区間に位置づけられた。今後、都市計画法の手続きや環境アセス等時間がかかるだろうが、事務局を預かる甲賀市としてもしっかり進めていきたい。
- ・トラック運送業の経営状況は、昨今の燃料高騰により非常に厳しい状態。大阪や愛知から滋賀に流入する際は、無料区間を有する名阪国道をよく利用する。名神名阪連絡道路の事業が動き出したとのことであるが、大型トラックが名阪国道から滋賀県へ流入する際は、甲賀市内の生活道路を利用せざるを得ない。9大型トラックが通れる物流道路と生活道路の区別が必要。
- ・甲南病院から北上し、水口方面へ向かう道路は住宅地の中を走っていく。交通量が多いので、バイパスの整備をしてもらいたい。
- ・甲賀土木事務所管轄から外れるが、甲賀市や湖南市から市外方面へ向かう路線は、南部土木事務所や東近江土木事務所管轄であり、三重県とも隣接している。広域的な道路網の整備について考えていく必要がある。

【道路空間の創出について】

- ・歩道幅員が広すぎる箇所がある。そのような箇所は歩道幅を縮小するなどし、自転車道にしてもらいたい。4m幅員が不要な歩道は、2mずつ歩道と自転車道に分けたら良いのではないか。中学生の自転車が車道幅いっぱい占めることもあり、自動車と自転車が一緒に走るのは危険なので対策を検討してもらいたい。
- ・湖南市の県道4号に歩道が整備され、自転車や歩行者が増加したが、歩道が途中で途切れており、車道を通行せざるを得ない箇所がある。大変危ない。
- ・周遊観光で自転車利用を案内しているが、自転車にとって平坦で走りやすい道路は、トラックも多く走っている。自転車走行の安全を確保する自転車道の整備を検討してもらいたい。

【交通渋滞対策について】

- ・湖南市と甲賀市の道路の連続性に課題を感じる。円滑に走行できるようにしてもらいたい。慢性的に渋滞しているので、十分に検討してほしい。
- ・甲賀市内の国道1号は、水口町のバイパス道路が整備され、利用しやすくなったが、甲賀市泉から湖南市方面の国道1号は、片道一車線で車線数不足のため、朝夕ピーク時に慢性的な渋滞が発生している。
トラック業界は2024年問題として時間外労働時間の上限規制が設けられ、一層の物流の効率化が求められるため、渋滞のない道路整備をお願いしたい。

- ・GWに陶芸の森で行われたイベント時に、国道 307 号バイパスにおいて渋滞が発生し、信楽町内すべての道路が渋滞してしまった。特にトラックなど、仕事をしている方からの苦情が多くあった。渋滞を避けた車が生活道路へ流入してしまうので、国道 307 号バイパスの早急な完成をお願いしたい。
- ・湖南市は国道 1 号の 4 車線化が一番の課題となっている。4 車線化が未完のため慢性的に渋滞し、その渋滞を避けた車が並行する野洲甲西線に流入することで、主に生活道路として機能する同路線の交通安全が脅かされている。また、甲賀市から三雲トンネルも三雲西の交差点で渋滞するので、旧東海道へ車が流入している。渋滞解消に向けた交差点改良をお願いしたい。

【道路等の維持・管理について】

- ・滋賀県の観光ではビワイチとして、サイクルツーリズムを推進している。新名神高速道路の開通で三重県伊賀方面に抜ける車が増加しているが、その脇を自転車が走っている状況である。自転車と大型車両の棲み分けが難しいという話もあったが、自転車が走行する路肩の舗装状況が悪いため、自転車が車道の中側に入ってきていると思われる。自転車の走行レーンとして路肩舗装の補修を進めてもらいたい。